

2016.11



# 室戸 市議会だより

発行／室戸市議会  
編集／室戸市議会  
議会だより編集委員会  
住所／〒781-7185  
高知県室戸市浮津25-1  
連絡先／0887-22-5140  
題字／谷 通子



## 室戸市敬老会

### 平成28年9月第5回室戸市議会定例会 会期・日程

#### 9月議会質問者

◇

小 棚	利 浩	廣 平	作 雄
山 下	口 太	精 一	喜 久 美
濱 上			
堺			

月 日	曜日	会の種別	摘要	月 日	曜日	会の種別	摘要
9月 9日	金	本会議	開会・提案理由の説明	9月18日	日	休会	
9月10日	土	休会		9月19日	月	休会	敬老の日
9月11日	日	休会		9月20日	火	休会	事務整理
9月12日	月	本会議	一般質問	9月21日	水	休会	事務整理
9月13日	火	本会議	大綱質疑・委員会付託	9月22日	木	休会	秋分の日
9月14日	水	休会	委員会	9月23日	金	休会	事務整理
9月15日	木	休会	事務整理	9月24日	土	休会	
9月16日	金	休会	事務整理	9月25日	日	休会	
9月17日	土	休会		9月26日	月	本会議	委員長報告・討論・表決・閉会

## 第5回定例会・議決結果一覧表・議案の説明

### 〈第5回定例会議決結果一覧表〉

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議案第1号	室戸市津波避難施設設置及び管理条例の一部改正について	28年9月26日	原案可決
議案第2号	室戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	28年9月26日	原案可決
議案第3号	室戸市企業誘致推進条例の一部改正について	28年9月26日	原案可決
議案第4号	平成28年度室戸市一般会計第3回補正予算について	28年9月26日	原案可決
議案第5号	平成28年度室戸市国民健康保険事業特別会計第3回補正予算について	28年9月26日	原案可決
議案第6号	平成28年度室戸市介護保険事業特別会計第2回補正予算について	28年9月26日	原案可決
議案第7号	財産の取得について	28年9月26日	原案可決
議案第8号	訴えの提起について	28年9月26日	原案可決
議案第9号	訴えの提起について	28年9月26日	原案可決
議案第10号	訴えの提起について	28年9月26日	原案可決
議案第11号	損害賠償額の決定及び和解することについて	28年9月26日	原案可決
議案第12号	室戸市過疎地域自立促進計画の一部変更について	28年9月26日	原案可決
議案第13号	市道路線の認定について	28年9月26日	原案可決
議案第14号	平成27年度室戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	28年9月26日	原案可決
議案第15号	高知県市町村総合事務組合規約の一部変更について	28年9月26日	原案可決
議案第16号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	28年9月26日	同 意

### 〈議案の説明〉

#### 議案第4号関係 ◎平成28年度室戸市一般会計第3補正予算について

歳入歳出予算はそれぞれ9億5,581万7千円を追加し、総額142億212万3千円とするものです。

歳出の主なものは、ふるさと室戸応援寄附金基金積立金3,000万円、(仮称)むろと海の学校及び集落活動センター整備事業費4億7,884万8千円、志国高知幕末維新博の開催に伴うキラメッセ室戸鯨館リニューアル事業費2億958万円、中央公園グラウンド防球ネット設置工事費999万4千円、室戸中学校プール改修工事費1,933万7千円、今年6月から7月にかけ発生しました梅雨前線豪雨災害に係る林道現年補助災害復旧工事費3,000万円、公共土木施設現年補助災害復旧工事費3,500万円の追加等です。

#### 議案第5号関係 ◎平成28年度室戸市国民健康保険事業特別会計第3回補正予算について

歳入歳出予算はそれぞれ230万9千円を追加し、総額4,427万8千円とするものです。

#### 議案第6号関係 ◎平成28年度室戸市介護保険事業特別会計第2回補正予算について

歳入歳出予算はそれぞれ4,003万4千円を追加し、総額23億2,158万7千円とするものです。

#### 議案第16号関係 ◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員 五島 由理 氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任することに同意するものです。

# 9月定例会

《一般質問とその答弁》

## 小椋利廣 議員

### ★市長の政治姿勢について

問：旧椎名小学校の改修工事

答：旧椎名小学校の有効活用

計画の内容は。

答：旧椎名小学校について公募を行った処、

椎名常会から集会所、避難所としての活用申し出、また日本ウミガメ協議会から博物館や水族館に利用の提案があり、「旧椎名小学校有効活用検討委員会」で施設の有効活用を検討し、地元の要望を取り入れ、国道からの進入路の新設、一階を集落活動センター事業の行

くいと指摘を受けており、三月四日に開幕する「志国高知幕末維新博」に向けて、ジオセンターの展示物の改修等移動を行うときに、観光ジオパーク推進課、各団体の配置について見直しを行い、来館者への接客力の向上に努める。

問：市道路線は建設後五十有余年が経過している路線が多く、幅員が狭く側溝の蓋もなく、水路の勾配も悪く排水が流れない状態で、生活に不便を来して、早急な道路改良の要望が多いが整備計画は。

答：市道整備は三年間の整備計画で社会資本整備総合交付金を活用して取り組んでいる。近年、要望額に対する配分率が少なくなつておらず、事業量の縮小や次年度への事業延期もやむを得ない状況で計画路線についても進捗が遅れているが、今

後も関係機関に対し要望活動を行い事業推進に取り組む。

問：市外通勤職員の危機管理意識向上への取り組みは。

答：市外通勤職員は二十名で

災害時の道路の寸断も想定されるが、勤務中の避難訓練や休日の参集訓練、防災研修を通じ、常に災害配備体制が取れるように注意喚起を行い、危機管理意識向上に取り組む。

問：観光客の誘致及び地域住民の交流の拡大と活性化を図る観光ジオパーク推進課が二階の人目につかない場所に設置されているが変更は。

問：災害時の状況把握や、物資の輸送に小型無人機（ドローン）を利用する事が重視と考えられるが、操縦者の養成や小型無人機購入の予定や利活用の計画は。

答：災害時には空から被害状況を確認し、全容の把握や立ち入り困難箇所の調査が出来ると考え、本年度に二次災害の危険がある箇所や現地踏査が困難な箇所の調査を行うため、ドローン一機の購入を予定している。

答：災害時の状況把握や、物資の輸送に小型無人機（ド

ローン）を利用する事が重視と考えられるが、操縦者の養成や小型無人機購入の予定や利活用の計画は。

答：新村ジオパーク駐車場整備に伴い、公衆トイレの設置を前から、地元新村地区の方々から強く要望されているが、最近駐車場周辺は、非常に不衛生な状況になっている。いつ公衆トイレが設置されるのか伺う。

問：室戸岬診療所の開所について

答：市としてどのような形で医療施設を設置、確保していくのかにつき検討を重ねてきたところ、宇賀先生から「市が診療所を開設するのであれば」ということで施設を譲っていただき、室戸病院の北村先生・船戸先生、高須病院の清遠先生、

県立あき病院の前田院長先生のご協力によりスタート

できた。地域の方々のご意見としては、「医師が近くにいてくれるだけで安心する」「助かる」「良かった」とお聞きしている。八月十八日

に開所、利用状況は、五回

の診療で延べ五十四人が來院した。今後については、

診療所の内容充実と共に健

全経営となるよう、地域

医療の充実に全力で取り組んで行く。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しいトイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

問：室戸岬診療所の開所について

答：室戸岬地区は、既存の診療所が閉鎖され、診療所の再開が住民の多くの声として求められていた。執行部の努力により室戸市が直當する室戸岬診療所が、診療開始の運びになつたことは、本当に喜ばしい。地区

問：本市の厳しい財政状況の中で、地方創生「企業版ふるさと納税」への取り組みは。

答：市としてどのような形で医療施設を設置、確保していくのかにつき検討を重ねてきたところ、宇賀先生から「市が診療所を開設するのであれば」ということで施設を譲っていただき、室戸病院の北村先生・船戸先生、高須病院の清遠先生、

県立あき病院の前田院長先生のご協力によりスタートできた。地域の方々のご意見としては、「医師が近くにいてくれるだけで安心する」「助かる」「良かった」とお聞きしている。八月十八日

に開所、利用状況は、五回

の診療で延べ五十四人が來

院した。今後については、

診療所の内容充実と共に健

全経営となるよう、地域

医療の充実に全力で取り組んで行く。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トトイレについては、新村地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整備に対しての補助金は難しく、その要因と主要指標から見た本市の財政状況をどのように捉えているのか。

答：実質収支額が大きくなつた要因は、歳入面では、市

出身者等企業の方々にご賛同頂けるよう取り組む。

問：平成二十七年度出納閉鎖の結果、一般会計に於いて

は、実質収支額が五億二千

万円となつていて、その要因と主要指標から見た本

市の財政状況をどのように

捉えているのか。

答：実質収支額が大きくなつた要因は、歳入面では、市

出身者等企業の方々にご賛同頂けるよう取り組む。

問：主要指標から見た本市の財政状況について

濱口太作 議員

## 山下浩平 議員

### ☆公衆トイレの設置について

問：新村ジオパーク駐車場整備に伴い、公衆トイレの設

置を前から、地元新村地区

の方々から強く要望されて

いるが、最近駐車場周辺は、

非常に不衛生な状況になっ

ている。いつ公衆トイレが

設置されるのか伺う。

答：トイレについては、新村

地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ単体の整

備に対しての補助金は難し

いとのことから、整備が進

んでいない状況である。公

衆トイレ整備と併せて清掃

活動の問題 柵や休憩スペ

ースの設置などについて、

再度地域の方々の意見を聞

き、県とも協議のうえ、財源

対策を行い、実現に努める。

答：トイレについては、新村

地区の方々からも、新しい

トイレの設置要望が来て

いる。県とも協議検討してき

たが、公衆トイレ

# 第5回定例会・一般質問

税と地方交付税を厳しく見積もっていたが、約三億五千円の増となつたこと、歳出面では、職員手当の減や、入札減、経費節減等に取り組んだ結果である。本市の財政状況については、主要指標は徐々に改善はしつつあるものの、ほとんどどの指標で県平均を下回るなど、依然として厳しい状況にある。

## ★国民健康保険事業特別会計の累積赤字について

問：平成二十七年度決算に於いて累積赤字が四億五千八百万円となつたが、累積赤字解消に今後どのように取り組みをされるか。

答：累積赤字の解消について累積赤字が四億五千八百万円となつたが、累積赤字解消に今後どのように取り組みをされるか。

## ☆ふるさと納税について

問：平成二十七年度の本市への納税寄付額は、三億九千八百万円となつてゐるが、返礼品の調達等コストはどう考へている。

のくらいかかっているか。又、返礼品として人気商品は何か。企業版ふるさと納税については、国への申請は、いつ頃を予定しているのか。

答：平成二十七年度のふるさと納税関係経費については、約二億七千八百万円となつてゐる。人気の返礼品としては、新鮮野菜セット、土佐おとめまぐる、西山さんとき等である。企業版ふるさと納税の国への申請は、平成二十九年一月を目標に作業を進めている。

次の具体的なスケジュールを示したいと考えている。  
問：室戸で開催されてきた、高知大会をなぜ今年は、開催をしないのか。

答：昨年の大会に於いて、複数の参加チームが望めなかつたことから、本年度については、開催を見送つた。今後は、室戸高校はじめ各校の関係者、全国高等学校女子硬式野球連盟などの意向や全国的な試合スケジュールを踏まえて検討していく。

## ★高等学校女子硬式野球高知大会について

## ★高知大会について

問：室戸で開催されてきた、高知大会をなぜ今年は、開催をしないのか。

答：昨年の大会に於いて、複数の参加チームが望めなかつたことから、本年度については、開催を見送つた。今後は、室戸高校はじめ各校の関係者、全国高等学校女子硬式野球連盟などの意向や全国的な試合スケジュールを踏まえて検討していく。

出に繋がつたと思われる事業はどの様な事業があるのかを聞く。  
答：農業関係では、県農業振興センターと毎月「農業関係職員連絡協議会」を開催しておりJA、市の職員が加わり、新たな取り組み等を協議している。そんな中から、炭酸ガス発生装置、園芸ハウス整備の支援を行うと共に、現在「庄毛農地ほ場整備」についても協議を行つていている。

問：新しい発想と室戸の特性に合つた特長ある産品を産み出すには、農業・漁業に限らずそれなりの期間と調査研究の為の経費が必要だと思うが、室戸市の一次産業の将来に繋げる為にも、調査研究費として予算計上すべきでは。

答：市農業研究会などに対し、新作物の開発試験栽培を依頼し、補助もしている。又、地域おこし協力隊の特産品作りにも支援しているが、調査研究事業は必要と考えており、市産業者会議のご意見も踏まえ、取り組んで行く。

## ★市道、用水路等の維持修繕の市民要望の処理について

問：市役所に連絡すると、すぐ出来ると思つたが、もう二、三年になるが音沙汰が無い。又、現場調査を行い補正対応しますと言つて三年になる。この様な声を聞くが市民からの要望申請についてどの様な処理をしているのか。

答：住民の方から要望があれば直ぐに現場を確認し、緊急性、必要性などを考慮し、限られた予算の中で対応しているが、全てにお応え出

響を及ぼすことから多くの市民の方から要望が有る事だと思う。更に、深層水研究所に至つては、市の進める深層水活用事業での「町おこし」水産業の振興、特産品の開発などに指導を受け、連携すべき重要な出先機関と考えるが、現在どの様な連携協議を行い、市の施策に活かしているのか。

問：本市には室戸土木事務所、農業振興センターを始め深層水研究所など市の社会基盤整備、産業振興には欠かせない重要な県の出先機関がある。特に土木事務所は港、河川など市民生活に影

問：本市に於いては、消防屯所の高台移転が進められている。岬分団の移転については、旧室戸岬小学校跡への移転を提案したところであるが、現在までの進捗状況と移転までのスケジュールは、どのようになつているか。

答：進捗状況については、これまでに、境界確定業務と測量を終え、現在は購入金額を算定するための鑑定業務の依頼を行つており、十月末には鑑定結果が報告される予定であり、それを基に地権者と交渉したい。そして、土地購入完了後、校舎の撤去や進入路や建物の位置を決定するが、一定土地のかさ上げも必要ではないかと考えている。土地購入の目途がついた段階で、

問：市の一農業・水産業の振興、活性化に向けての政策決定は、国、県の動向を踏まえ、室戸市としての方向性を示すと共に農協・漁協の現状、連携の中から生まれるものと思う。しかし、予算、決算から見えてくる連携の現状は、施設整備の要望を聞く形だけの連携になつてゐる。ここ数年間の連携協議の中から先駆的で規模拡大や新たな事業、雇用の創

問：本市には室戸土木事務所、農業振興センターを始め深層水研究所など市の社会基盤整備、産業振興には欠かせない重要な県の出先機関がある。特に土木事務所は港、河川など市民生活に影

響を及ぼすことから多くの市民の方から要望が有る事と思う。又、返礼品として人気商品は何か。企業版ふるさと納税については、国への申請は、いつ頃を予定しているのか。

# 第5回定例会・一般質問・委員長報告

来ない場合もある。現在、要望調書を作成する事により、対応出来ないケースについては要望者に対し説明し、理解を頂くよう努めている。

## 堺 喜久美 議員

### ★防災・減災対策について

問：「自分たちの地域は自分たちで守る」と、本市の自主防災組織率は百%となっていながら、自主防災組織に入つてないと思われる人はどうれくらいか。その人たちへの対応はどうするのか。

答：自主防災組織の構成員は、常会への加入や非加入によつて区分されるものではなく、地区ごとの全住民なのが多く、多くの方に活動に参加していただくよう、広報やホームページ、防災無線などにより周知を図り、防災意識の向上に努めたい。災害に対する知識を図り、防災訓練の方法は、維持管理費はどのくらいか。住宅耐震化率はどうなつているのか。

### ★学校図書購入費について

問：子どもたちの成長・学力にも大きく影響を及ぼす学校図書館の充実を「文字・活字文化振興法」では国と自治体に求められている。

答：文部科学省の学校図書館図書基準に当てはめる、

らは約三十万円程度、五年目・十年目には発電機や水密扉の改修費など費用が多くなることが予想される。家屋の耐震化率は、室戸市全体では約二十七%都呂地区は約二十%と耐震化率が進んでいない実情である。

### ★給付型奨学金について

問：鹿児島県長島町では、高校・大学卒業後、地元に戻ってきた若者の奨学金返済を免除する「ぶり奨学金制度」が創設されている。本市でも卒業後、室戸に帰り就職や起業を考えている若者に返済免除の制度は考えられないか。

答：県内十市のうち二市が給付型奨学金、八市が貸与型となつてている。その内二市が地元に就職した場合は、償還額相当分を補助金として交付することを検討中であると聞いている。こうして他の市の動向や必要となる財源の確保など、どのような仕組み作りが考えられるか検証していきたい。

### ★書籍消毒器について

問：安心して図書館の本を利用するために、市民図書館に無料の書籍消毒器を設置できないか。

答：紫外線や送風によって書籍を殺菌したり、ゴミや臭いを取るもので、安心・安全の提供はもとより、衛生面でも効果が期待できる。今後、他の図書館の導入状況や購入経費、維持管理費などを調査し、導入に向け検討していく。

小学校では百十三・八%、中学校では七十一・八%、全体では九十六・三%となつてある。今後においても子供たちが本と触れあう機会や環境整備に努めていく。

### ★読書通帳について

問：読書に親しんでもらう取り組みとして、借りた本の履歴を目に見える形で残す「読書通帳」の導入により、子供を中心市民の読書への意欲を高め、市民図書館の利用者向上につなげるこ

答：近年、全国の公立図書館などで導入され、読書意欲の促進や利用登録者の増加に貢献している。取り組みについて検討すると共に、一定の節目に達すると認定書を発行するなど図書利用促進に向けた取り組みについても考えたい。

「議案第一号 室戸市津波避難施設設置及び管理条例の一部改正について」

建設し、後に室戸市に移管されるものだが、県が管理している施設はあるのか。また移管された後、シェルターの維持管理にはいくらかかるのか。通常の管理はどうしていくのか」と質疑があり、「身近なものでは広域公園のシェルターが県管理の施設であり、現在建設中のドームについても県が指定管理をしていくと思われる。シェルターの維持管理については、初年度は打音検査等、すべての検査があることから約二百四十万円程度経費がかかるが、二年目以降は電気代、機械のメンテナンス等で三十万円程度の予定である。また、県から委託料は出ない。通常の管理は防災対策課職員が見回りに行くほか、市民館の職員にもお願ひしている」と答弁があつた。

### ☆企画財政課関係

「羽根地区水文調査委託料について、この調査は太陽光発電システム事業を受け、市が独自に行つているのか、県から依頼があつての調査か。また水文調査とはどのような調査か」と質疑があり、「水文調査とは水質だけでなく、水の濁りや水量の変化等、もつと広域な調査を指す。またこの調査は市が独自で行う調査であり、県に依頼されたり結果を提出するというものではない。工事の事前事後の環境

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第二号 室戸市家庭的保育事業等の設備及び運営の関する基準を定める条例の一

部改正について」

「議案説明資料」ページの附

則第六条について、条文中の

「置くことができる」と、同

## 総務文教委員会委員長報告(抜粋) 平成二十八年九月定例会

資料五ページの附則第六条中

「置かなければならぬ」は、どう違うのか」と質疑があり、執行部から「附則第六条は、いかなる場合でも最低二名の保育士が必要となるため、保育士が一名しかいない場合ではもう一名、保育士と同等の知識及び経験を有する者を置かなければならない」というものである。資料二ページの説明は、保育士が一名しかいない場合、あとの一名を置くことができるとする状況の条件を示したものである」と答弁があつた。

## 第5回定例会・委員長報告

「調査をすることにより、影響が出た場合は業者に改善要請をする材料にする。まだ工事は始まっていないため、今回は事前調査の費用を計上している。」と答弁があった。

★保險介護課關係

「養育医療扶助費について。未熟児の養育費ということだが、対象となる条件はどういうものか」と質疑があり、「出生時の体重が二千グラム以下で、痙攣がある・嘔吐を繰り返す等の症状があり、入院での養育が必要と認められた赤ちゃんである。この養育医療費は医療保険給付以外の自己負担分が対象となる。」と答弁があつた。

☆財產管理課關係

☆防災対策課関係  
「委託料について、住宅耐震改修工事費から耐震診断委託料に予算を組み替えているが工事費が足りなくなる恐れはないのか」と質疑があり、「診断件数が昨年ベースからいって四倍ほどの数になつてゐる。耐震工事を行うにはまず耐震診断、設計、工事という流れになり、工事まで至つたものは今年は今のところ該当が一件である。工事にも期間がかかるため、今年は他に該当するものが出てこないと判断し組み替えで診断費に充てていれる」との答弁があつた。

☆福祉事務所関係  
「役務費について、公園の遊具撤去のことだが、撤去後の土地の利活用について考案しているか」と質疑があり、「太谷地区と吉良川地区の児童遊園地の遊具撤去を行つて、太谷地区の児童遊園地については高台になるため、津波避難の際の避難所として利活用できないか協議を行つてゐる。吉良川についても、更地にして駐車場にしてほしいと地元からの要望もあるため、これから協議をしていく必要がある」と答弁があつた。

☆市民課関係  
「地域環境美観活動交付金について、この交付金の交付要件はどのようなものか、どういう団体がどういう目的で活動するときに交付するものか」と質疑があり、「地域環境保全

## ☆補足事務所関係

☆市民課関係

「地域環境美観活動交付金について、この交付金の交付要件はどのようなものか、どういった目的で活動するときに交付するものか」と質疑があり、「地域環境保全

PO法人、任意団体、グループ等で、地域に環境活動の広がりが見込まれる活動をしている団体、その他環境に配慮した取組みと認められる活動をしている団体を対象としている。海岸清掃や花壇の植栽等の活動をしており、交付額は最高五万円である」と答弁があった。また「美観活動の結果や成果を確認しているか」と質疑があり、「実績報告や領収書の提出をお願いしている」と答弁があった。

### ☆産業振興課関係

「地域産業支援事業費補助金について、内容をもつと詳く聞きたい」と質疑があり、「滋賀県湖南市に新たにオープンする産業交流施設に室戸の特産品を置いてもらう話が進んでおり、オープンインベントで室戸の魚や料理方法をPRする。海のない県のため水産物が中心になると考えていてる。この施設と室戸の水産業者との繋がりのきつかけをつくる補助金としたい」と答弁があった。また「県広域食肉センター事務組合負担金について、食肉センター事務組合に赤字が出たら、この負担金は毎年額が変わらぬのか」と質疑があり、「この組合は県事務組合で、県下二十八市町村すべてが入っている。運営費用はこの市町村で出しており、赤字が出た場合はそれぞれ負担金を出し、額も毎年変わるもの

☆産業振興課関係  
「也」或至業士支委事

について、内容をもっと詳く聞きたい」と質疑があり、「滋賀県湖南市に新たにオープンする産業交流施設に室戸の特産品を置いてもらう話が進んでおり、オープンイベントで室戸の魚や料理方法をPRする。海のない県のため水産物が中心になると考えている。この施設と室戸の水産業者との繋がりのきっかけをつくる補助金としたい」と答弁があった。また「県広域食肉センター事務組合負担金について、食肉センター事務組合に赤字が出たら、この負担金は毎年額が変わらぬのか」と質疑があり、「この組合は県事務組合で、県下二十八市町村すべてが入っている。運営費用はこの市町村で出しており、赤字が出た場合はそれぞれ負担金を出し、額も毎年変わることはない」と回答した。

建設土木課關係

――道路新設改良費及び委託料について、担当課みずから記入して貰う。計等をすることはないのか」と質疑があり、「今回の市道新設では国道、公安との交差点の協議の必要がある。また、右折レンジを設置することにより複雑な技術を要すること、対応する職員が少ないこともあり、委託をしたものである。協議にはコンサルとともに当職員も参加しており、コンサル任せにしてはいるわけではない」と答弁があつた。

★学校保育課関係

監理委託料及び改修工事費について、ブールを直すのは耐震化が目的なのか、老朽化が原因なのかどちらか」と質疑があり、「室戸中学校のブール改修工事は老朽化のため、改修工事を行うものである」と答弁があつた。

教員が高知県教育委員会から異動になつてくるものだが、七月に退職となつても来年三月まで新たな職員が派遣されることになった」と答弁があつた。

☆学校保育課関係

「室戸中学校プール改修工事監理委託料及び改修工事費について、プールを直すのは耐震化が目的なのか、老朽化が原因なのかどちらか」と質疑があり、「室戸中学校のプール改修工事は老朽化のため、改修工事を行うものである」と答弁があつた。

☆観光ジオパーク推進課関係

「むろと海の学校及び集落活動センター整備工事について椎名常会及び地元住民の理解や、集落活動センターの利益・運営態勢についても協力能勢は整っているのか。椎名地区は高齢化率も高いが、継続して事業をやっていけるのか」と質疑があり、「説明会を計3回開催し、椎名地区の総会にも出席して説明をしていい。椎名地区の方十四、五名と先進地の集落活動センター視察を行つた結果、女性の方が積極的になつてくれている。センターの活動については、地元で継続してできる範囲の事業をやっていく」と答弁があつた。また「配食サービスの要望調査は実施したのか」と質疑があり、「地元の配食の要望



## 第5回定例会・委員長報告・閉会中の主な議会活動

次に「この情報通信技術利用事業とか旅館業のほか、どういったものが対象になるか規則で定められているのか。」と質疑があり、「この条例の改正の効力自体が議決後の公布の日からということになるで、規則の案はできているので、条例と同時に公布して、条例と同じタイミングで定めた」と答弁がありました。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。  
「議案第五号 平成二十八年度室戸市国民健康保険事業特別会計第三回補正予算について」

「償還金の四千万余りは、例年に比べてどうか。」と質疑があり、「例年に比べ、全体的に少し大きくなっている。国・県・市の負担分が、県の予算と一年前の介護給付費地域支援事業費を参考に、概算で決められているので、国・県の負担金が足りなくならないよう、多めに確保したため、今年は少し多くなった。」と答弁があつた。

「介護給付費交付金が二年分違いは何か。また、毎年二年分といふことなのか。」と質疑があり、「歳入の方は、第二号

被保険者の診療報酬支払基金から入つてくるもので、国・県は市が多くもらいすぎているので、返すものであるが、二十七年度の決算で診療報酬の方が足りなかつたので、こちらはもらう分で、平成二十七年度に対応するものである。歳出の支払基金の交付金返還金は、平成二十四年度の歳入調定に年度誤りがあつたので、今年、平成二十四年度分を再確定して、その分が返還になっている。なお、今回は二十四年度分と二十七年度分が混在しているが、通常は毎年、前年度分のみの精算を行つている。」と答弁があつた。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。  
「議案第六号 平成二十八年度室戸市介護保険事業特別会計第二回補正予算について」

「この事故はどういう状況で起つたのか。また、後で示談金額がこんなに増えるといふことは、初期の対応に問題があつたようと思うが、事故が多いなか、保険だよりで、安易な気持ちで公用車を運転しているのではないか、今一度意識の徹底が必要ではないか。」と質疑があり、「仕事の帰りに、渡川橋を右折する際、停止していた原付バイクが死角となり、接触事故を起こした。事故直後には、室戸警察署、水道局に連絡して相手側には救急車の手配、病院への受診を進めるも本人が必要で

ないとの返答であり、バイクを置き徒步で帰宅した。翌日自宅へ訪問し、確認すると病院へは次の日に受診しており、これが示談に向けた話し合いを行つた。なお、施設管理という業務で毎日、公用車を運転するので、今後とも交通安全意識を徹底して行く。」と答弁があつた。

次に「過失割合はどうか。」と質疑があり、「過失割合は、本市が加入している保険会社によるところ、市側の前方の確認不足といふこと、相手方の認不足といふことと、相手方の原付バイクは一時停止線の手前で停車中であつたという状況から過失割合は、市側の十

対0である。」と答弁があつた。  
採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。  
「議案第十三号 市道路線の認定について」  
特段質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第十四号 平成二十七年度室戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」  
特段質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。  
「議案第十一号 損害賠償額の決定及び和解することについて」  
採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

### 閉会中の主な議会活動

- 7月12日 議会運営委員会開会
- 7月19日 執行部とともに副議長が高知県に陳情
- 7月21日 市町村議会議員研修に議員2名参加
- 7月26日 ごめん・なはり線活性化協議会総会及び安芸広域市町村圏事務組合議会定例会に議長出席
- 8月3日 愛媛県西予市議会が行政視察のため本市を訪問
- 8月17日 室戸岬診療所開所式に議長及び関係議員出席
- 8月25日 佐喜浜町津波避難シェルター落成式に議長及び関係議員出席  
第129回高知県市議会議長会臨時総会に正・副議長出席
- 8月31日 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会に議長出席
- 9月6日 議会運営委員会開会

### 定例会の傍聴にお忙しくて来られない市民の皆様に

行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に!」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしてまいりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

（編集委員一同）

### 議会の傍聴に おいでください。

次の議会定例会は  
12月初旬です。

議会事務局  
☎22-5140

